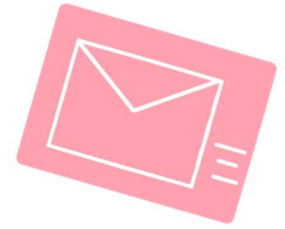


ポポロでのリサイタルを前に、古部賢一さんにメールでインタビューをさせていただきました。



Q. 古部さんにとって、オーボエの魅力とは？

A. 音色や歌い方などに奏者の個性や特色が出やすい点だと思っています。

Q. オーボエは、ピアノやギターなどと比べて演奏する人が少ない楽器という印象がありますが、古部さんとオーボエとの出会いを教えてください。

A. 中学校の吹奏楽部で先生に勧められたからです。その時にはオーボエという名前も知りませんでした。

Q. 大学で後進の指導にもあたっていらっしゃいますが、古部さんが大学生のころと、今ではどんなところに違いがありますか？逆に変わらないところはどんなことでしょうか。

A. 違うのは学生の気質よりも時代や世の中の雰囲気なのかなと思います。若さ故の特権や勇み足からの失敗など若人に対して昔はもっと寛容だったような気がします。それ故に今の若人は無意識にも失敗することを恐れて大人しくなっているかもしれません。学生のうちにたくさんトライしてたくさん失敗するよう、学生達にはいつも勧めています。

Q. 永年オーケストラ(新日本フィルハーモニー交響楽団)の一員として活躍されてきましたが、オーケストラでの演奏と、ソロ、アンサンブルでの演奏では、どんな違いがありますか？

A. 一番大きいのは指揮者の有無でしょう(笑)。それ以外はオーケストラも室内楽も、良く聴き合ってアンサンブルする点においては基本的に同じで、規模の大小の違いだけに過ぎません。ソロではもし良くない演奏をしてしまっても僕個人の問題ですが、オーケストラでは「看板」や「仲間」を背負っての重責という違いはあります。もちろん仲間達と一緒に音楽出来る喜びが大きいですし、その意味においてはオケ、アンサンブル、ソロに違いはやはりありません。

Q. 昨年以来のコロナ禍で、多くの演奏会が中止となりました。音楽家の皆様にとっても辛い時期が続きましたが、その間に音楽への向き合い方に変化がありましたか？



©土居政則

A. 僕自身はアナログ人間ですのでネット配信等々は若人の皆さんにお任せし(笑)、「充電期間」と腹を括って、普段ならなかなか落ち着いてできない方法論の実験などにのんびり取り組んでいました。

少しずつコンサートが開催されるようになり、僕達はもちろん世界中の音楽家達がお客様と一緒にライブを楽しめる喜びにうち震え、感謝を再認識していると思います。

Q. 今回リサイタルのタイトルに「知楽！博楽！音楽の知恵袋」とあります。どんな内容かとても楽しみです。ぜひ聴きどころを教えてください。

A. 加藤君とのおしゃべり解説を挟みながら楽しく進行するコンサートです。有名な曲も知られざる曲も、理解が深まることでより一層楽しんで頂けると思います！

Q. 初めての三原公演に向けて、お客様へのメッセージをお願いします。

A. とても素敵なホールで皆さんと一緒に楽しいひとときを過ごせることを、今からとてもわくわく心待ちにしております！楽しんで頂けるコンサート間違いなしですので、是非ともいらしてくださいませ！